

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：1月どり春系キャベツの優良品種の選定（第70回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕1月どりに適する春系キャベツ品種は、耐寒性が強く安定して収穫ができる「彩ごころ」、「SK6-457」、「YRうめ吉」、「TCA-588」及び「YR彩づくし」である。			
キーワード 春系キャベツ、1月どり、耐寒性、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、生産振興課	
実施期間	2022年度		

### [目的及び背景]

千葉県におけるキャベツの産出額は70億円であり、全国3位の産地（令和元年）である。海匝地域では春系品種を用いた青果用出荷が盛んで、10月下旬から7月上旬までの継続的な出荷が行われている。このうち1月に収穫する作型では、凍害による傷みや結球部の腐敗が問題となるため、耐寒性に優れる品種が求められる。そこで、耐寒性が強く1月に安定して収穫でき、各種病害に強い春系品種を選定する。なお、本試験は第70回千葉県野菜品種審査会（キャベツの部）として実施する。

### [成果内容]

- 1 1月どりに適する春系キャベツ品種は、令和5年1月20日に開催された第70回千葉県野菜品種審査会で入賞した「彩ごころ」（（株）増田採種場）、「SK6-457」（（株）サカタのタネ）、「YRうめ吉」（（株）日本農林社）、「TCA-588」（タキイ種苗（株））及び「YR彩づくし」（（株）増田採種場）である（表1、写真1～5）。
- 2 全出品品種で出芽率は80%を超えて良好であり、出芽率に問題のある品種はない（表2）。
- 3 栽培を行った令和4年の気温は、9月第4半旬から10月第1半旬まで平年に比べて高く推移した（図1）。12月第4、6半旬及び1月第1半旬では、平年に比べて低い気温で推移し、多くの出品品種で寒害に伴う腐敗が発生した（表3）。
- 4 1位となった「彩ごころ」は、入賞品種の中では最も肥大が良く、春系の形質を持つ品種であった（表3）。本品種は、入賞品種の中では腐敗発生程度が大きかった。これは、結球重が他品種に比べて重い傾向で、耐寒性が低下したためと考えられた。2位の「SK6-457」は揃いが良い。「SK6-457」、「YRうめ吉」、「TCA-588」及び「YR彩づくし」は、腐敗発生程度が低く、耐寒性が強く安定し

て収穫できる性質が高評価されている。

[留意事項]

- 1 「彩ごころ」の審査時の名称は「春系55236」である。
- 2 「彩ごころ」、「YRうめ吉」及び「YR彩づくし」の種子は購入可能、「TCA-588」の種子は試験販売中である（令和5年9月現在）。
- 3 「彩ごころ」は、気象条件によって寒害に伴う腐敗がやや多く発生する可能性がある。

[普及対象地域]

県内のキャベツ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

- 1 「YR彩づくし」は令和3年度より県内の出荷組織で試作導入品種として広く栽培されている。
- 2 「彩ごころ」、「SK6-457」及び「TCA-588」は産地で試作が進んでいる。

[成果の概要]

表1 第70回千葉県野菜品種審査会（キャベツの部）の審査結果

順位	審査番号	品種名	出品社名	審査得点		
				立毛	収穫物	合計
1	8	彩ごころ	(株) 増田採種場	82.1	247.7	329.8
2	9	SK6-457	(株) サカタのタネ	80.3	247.3	327.6
3	1	YRうめ吉	(株) 日本農林社	82.7	236.6	319.3
4	3	TCA-588	タキイ種苗(株)	80.9	238.3	319.2
5	2	YR彩づくし	(株) 増田採種場	81.5	233.6	315.1

- 注1) 栽培場所は東総野菜研究室露地圃場（旭市）、土壌は典型淡色黒ボク土
- 注2) 令和4年8月19日に128穴黒色セルトレイに培養土「与作N8号」を充填して1粒播種し、9月14日に畝間60cm、株間35cmで定植した
- 注3) 施肥成分量は10a当たり窒素16.8kg、リン酸11.2kg、加里14.4kgとした
- 注4) 審査日は令和5年1月20日
- 注5) 23名の審査員により、立毛審査100点、収穫物審査300点の合計400点満点で審査した



写真1 「彩ごころ」の収穫物



写真2 「SK6-457」の収穫物



写真3 「YR うめ吉」の収穫物



写真4 「TCA-588」の収穫物



写真5 「YR 彩づくし」の収穫物

表2 セルトレイにおける出芽率

審査 番号	順位	品種名	出芽率(%)		
			A区	B区	平均
1	3	YRうめ吉	96	98	97
2	5	YR彩づくし	91	96	93
3	4	TCA-588	96	89	93
4			97	98	98
5			91	95	93
6			100	100	100
7			94	98	96
8	1	彩ごころ	98	98	98
9	2	SK6-457	98	97	98
10			85	89	87
11			99	99	99
12			92	91	91
13			82	85	84
14			87	83	85
15			100	99	100

注) 播種5日後の令和4年8月24日に128穴セルトレイ上で計測した

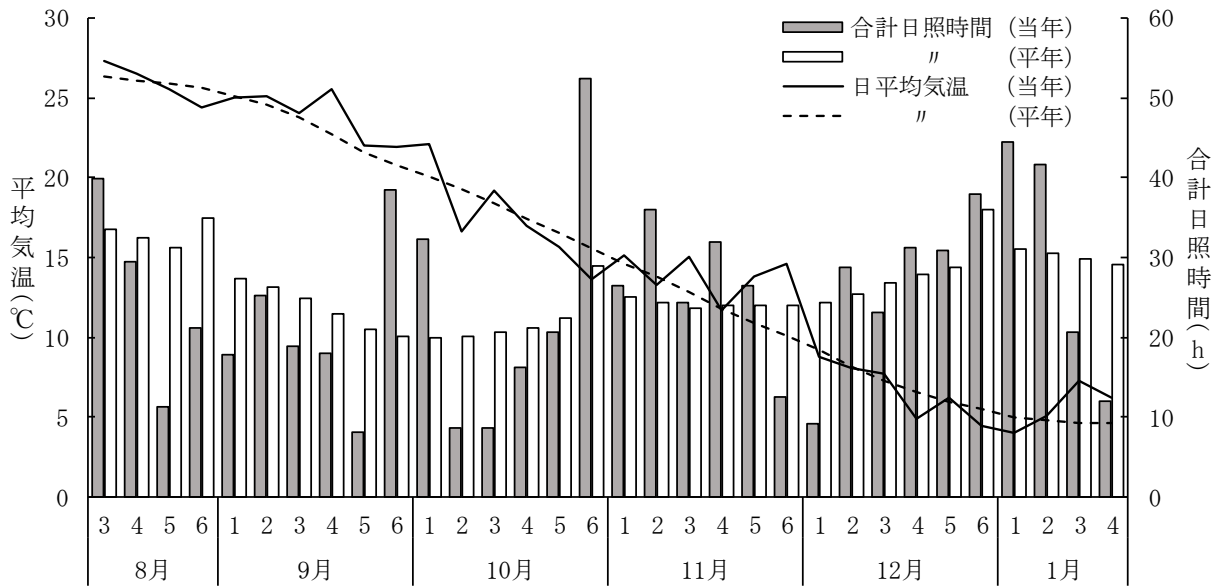


図1 栽培期間中の日平均気温、合計日照時間の半月ごとの推移

注) アメダス横芝光による

表3 出品品種の審査時の生育及び腐敗発生程度

順位	審査番号	品種名	結球重 (kg)	球高 (cm)	球径 (cm)	結球緊度 (g/cm <sup>2</sup> )	腐敗発生程度
1	8	彩ごころ	1.5	14.3	20.2	0.49	42
2	9	SK6-457	1.3	12.7	19.5	0.50	21
3	1	YRうめ吉	1.2	12.6	19.3	0.48	7
4	3	TCA-588	1.3	13.8	19.1	0.46	17
5	2	YR彩づくし	1.2	13.1	19.1	0.45	18
	4		1.2	12.8	19.5	0.48	61
	5		1.2	12.2	19.9	0.46	38
	6		1.4	13.3	20.3	0.50	64
	7		1.4	13.3	20.6	0.48	51
10			1.6	14.0	20.3	0.52	61
11			1.4	13.1	20.5	0.48	35
12			1.3	12.5	19.3	0.54	26
13			1.0	12.4	19.0	0.43	31
14			0.8	11.0	16.9	0.49	40
15			1.1	12.3	17.8	0.55	54
参考 金瑛			1.3	13.4	19.2	0.52	4

注1) 1月20日に1区11株を調査し、その平均を示した(2反復)

2) 結球緊度は結球重(g)/結球体積(cm<sup>3</sup>)とし、  
結球体積は $4/3\pi \times (\text{球径}/2)^2 \times (\text{球高}/2)$ で求めた

3) 腐敗発生程度は、0:発生無し、1:手で摘まめば出荷できる程度の軽微な発生、  
2:程度1が複数個所にあるような発生、3:結球内部に及ぶ腐敗の4段階で評価し、 $\Sigma(\text{発生程度} \times \text{球数}) / (4 \times \text{調査球数}) \times 100$ で求めた

[発表及び関連文献]

- 1 令和5年度試験研究成果発表会（野菜部門）
- 2 1月どり春系キャベツの優良品種の選定、千葉の園芸、第72巻第7号、2023年

[その他]